

研修旅行

2年生は10月5日から7日までの2泊3日の研修旅行で京都府・大阪府・兵庫県へ行きました。

1日目は、科別研修で食品システム科は学校法人みかしほ学園・姫路城へ緑地デザイン科は咲くやこの花会館、空中庭園展望台へ電子機械科は大阪工業大学大宮キャンパス・京セラ株式会社、人間環境科は大阪市立科学館・キッコーマン食品高砂工場、情報科は大阪企業家ミュージアム・NECイノベーションワールドへ行きました。夜は劇団四季観劇「CATS」を観賞しました。

1日目の科別研修は先生方、生徒たちにとっていい勉強になったそうです。この経験をこれからの勉強、生活に生かしてください。劇団四季観劇「CATS」は、とても迫力があり、面白かったという感想が多かったです。

2日目は、京都班別研修でクラス別でグループに分かれ、計画を立て、それぞれグループで観光や研修しました。その後、八つ橋庵とししゅうやかたで和食の夕食を食べました。2日目は、京都市内を散策し、いろいろな観光名所などを訪れたりなど、勉強になることがたくさんあったことでしょう。

最終日の3日目は、ユニバーサルスタジオジャパンで自由行動でした。研修旅行の中でも最も楽しかったという生徒が多く、先生方もユニバーサルスタジオジャパンで行動しているときが一番楽しそうだったと言っていました。3日目の自由行動で友達と過ごす時間も長く、さらに絆も深まったのではないのでしょうか。2年生にとって最高に忘れられない研修旅行になったと思います。

研修旅行の目的

1. 上級学校、産業施設等を見学体験し、自分の進路や生活に役立つ情報・知識を得るとともに、進路意識の向上をはかる。
2. 見学する機会の少ない芸術・文化に接し、知見を広める。
3. 規律ある団体生活を通して、社会性・協調性を養う。
4. 生徒間の親睦をはかり、周りの人を思いやる心や、リーダーシップの育成をはかる。



生きる意味を考える講習会



10月31日、講演会が行われました。講演してくださったのは株式会社植松電機、専務取締役の植松努さんでした。植松さんは子供のころから紙飛行機が大好きで、「航空宇宙の仕事がしたい」という夢を持ち、中学校の進路指導で先生に話しますが、「夢みたいなことを言うな」と一蹴されてしまいます。そんな植松さんに母親は「思うは招く」という言葉をかけます。植松さんは、その言葉を信じ続け、北海道大学大学院の永田晴紀教授とともにロケットを完成させます。夢を否定されてしまった人は自信を無くし、「自分には、どーせ無理」と思い、お金で自信を買ったり、人を見下したり、他人の努力の邪魔をするようになると思います。植松さんは自信を無くしてしまった人は「自分には、どーせ無理」と思い込むのではなく、「だったらこうしてみたら」と考え、その言葉があれば夢が叶い、世界が変わると言っておられました。生徒は皆、植松さんの講演を真剣に聞きました。自分の夢を信じ続けようと思った人も多いのではないのでしょうか。



進路 LHR

1年生

7日に1年生を対象とした進路ガイダンスが2・3限を使って行われました。今回は2限目に株式会社さんぼうの方による進路にまつわる寸劇を披露していただき、3限目には、就職と進学にわかれて説明を聴きました。就職希望者は、「就職総合説明」、「公務員総合説明」の2つの中から興味のある1つを選び、進学希望者は、26ある分野の中で、自分が興味を持つ分野を2つ選んで説明を聴きました。進路ガイダンスは1年生にとって、進路について考える大切な機会として毎年行われています。1年生も2年後の10月ごろには、就職・進学活動が本格的になりますので、今回の経験を活かしていきましょう。

2年生

14日には2年生を対象とした進路に関するLHRが行われました。今回は、JPツーウェイコンタクト株式会社の橋目潤也氏を講師に招き、「働くとは何か」という演題で講演を行っていただきました。2年生は11月にインターンシップを実施するにあたり、実際に働いている方からこれまでの経験をもとにしたお話を聴くことができ、2年生にとって「働くとは何か」を十分に理解することができた講演会になりました。